



— 節分祭の豆撒き行事 —  
 阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>

# 社報 あそみや

平成24年1月1日  
 第 53 号  
 発行所  
 阿蘇神社社務所  
 多良見町化屋862  
 ☎ 0957-43-5235

## 迎春

阿蘇神社  
 宮司 大島 大明

平成二十四年の初春を寿ぎ、氏子崇敬者皆様のご多祥を祈念申し上げますとともに、本年も格別のご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

さて今年は壬辰(みずのえたつ)、十二支では五番目、方位では東南東、時刻は午前七時から午前九時に当たります。十二支の中では、辰(龍)だけが天界の動物で、地上に降りては水を司る神、特にその風貌からか荒れ狂う海や轟々と落

ちる滝などを支配する神として畏れられています。

辰年生まれの方は負けず嫌いで頼まれると嫌といえずに引き受けてしまう。しかき己の仕事には自信と誇りを持って取り組み、裏表のない誠実な人が多いそうです。

東日本大震災後は景気の回復の目処も立たず、TPPへの参加の是非など難問が続いています。新たな年、幾多の苦難も乗り越える日本の底力を信じたいと思います。

### 敬神生活の綱領

- 神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。
- 神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。
- ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。
- 一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
  - 一、世のため人のために奉仕し、
  - 一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
  - 一、大御心をいただきてむつび和らぎ、
- 国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

# 平成二十四年節分祭 豆撒き奉仕者募集!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(金曜)に行われます。多良見町商工会を始め、多くの商店・商社のご協力をいただき催されます。

節分祭は、諫早市の迎春行事として定着し、毎年多くの方が一年間の福を求めて参拝されます。

辰(たつ)歳生まれの皆さん、豆撒き行事には是非ご参加下さい。

### ◎募集要項◎

#### 一、日時

二月三日(金曜日)

豆撒きの時間

一回目 午後六時四十分

二回目 午後七時四十分

三回目 午後八時四十分

※袴への着替えのため、いずれも四十分前には神社に集合していただきます。

#### 二、募集人員

各回 七名 合計二十一名

男女は不問ですが、子供は七名中二名までです。

#### 三、参加料

大人 八千円・子供 五千円

記念写真・記念品を贈呈

#### 四、申込方法

住所・氏名・生年月日・電話番号と希望する豆撒きの時間を紙に書いて、参加料を添えて社務所へお届け下さい。

袴の数の都合で定員になり次第締め切りますので、お早めにお申込をお願いします。

電話での予約も受け付けます。

電話 四三―五二三五

ファクス 四三―二二八三

今年の年男・年女(辰歳生)

平成十二年生、昭和六十三年生

昭和五十一年生、昭和三十一年生

昭和二十七年生、昭和十五年生

昭和三年生

### ☆☆火焼神事へのお願い☆☆

①火焼神事は、午後九時で終了します。神棚・御神札など一つにまとめ、陶器等の付属品は分けてお持ち下さい。

②ビニール袋ではなく、新聞紙または紙袋でお持ち下さい。

③人形(雛人形、武者人形など)は可ですが、ケースのガラスは自宅処分して下さい。また、ぬいぐるみは不可ですので自宅処分して下さい。

④御社殿前東側に「古神札神符納所」を用意しています。



— 火焼(ほやき)神事—

### 新嘗祭終了

平成二十三年の新嘗祭が、十一月二十三日に斎行されました。幣殿の左右の柱に懸税(かけぢから)の稲穂の束を揚げ、神前には新穀を神饌とし、官司が五穀豊穡の感謝の祝詞を奏上、参列者の代表が玉串を捧げ拝礼を行いました。

#### ☆新嘗祭への奉納☆ 【敬称略】

◇懸税・初穂 松山弥八

◇懸税・玄米 草野 榮

◇献穀米 長崎県神社庁西彼支部 長崎県神道青年会

◇供米 草野千鶴子

◇蜜柑 森 健志朗

◇キウイフルーツ 犬塚秀樹

◇献酒 親和銀行多良見支店長・前田圭介、諫早市、たちばな信用

金庫多良見支店長・中島将博

◇初穂料 J A長崎せいひ喜々津支店長・森 浩幸、森 健志朗、

㈱森商會・森 誠司、松本 淳、

松山弥八、北島守幸、金水勝美、

寺田照己、嶋田彌八郎、上之 睦

中村真夫、草野 榮、峰 一孝、

松崎章雄、山中征二、白石幸男、

前田信太郎、吉野 徹、向井徳磨

松尾清人、宮嶋 博、大久保治賢

以上

第 20 回(最終回) 新年の運だめし Cross Word Puzzle

一年間の運だめしです。ハガキに①答え、②住所、③氏名、④電話番号を書いてお送り下さい。正解者には阿蘇神社オリジナル記念品を10名(正解者多数の場合は抽選)に贈呈します。締め切りは2月3日午後3時必着(ハガキは持参しても可)。送り先 〒859-0401 諫早市多良見町化屋862 阿蘇神社パズル 係(正解者多数の場合、抽選は2月3日節分の第1回豆撒き終了後に行います)

《タテのかぎ》

- ①医者で小説家。代表作に『榆家の人びと』がある。
- ②現金払いがいいんじゃない?
- ③昔の商家で番頭になる奉公人。
- ④悪魔のような性格。
- ⑥侍としての心構えか?
- ⑨生でも美味。焼いても鍋でもこれもまた美味な食材。

《ヨコのかぎ》

- ①手紙を出す時に忘れないように!
- ⑤♪ひとは石垣ひとは城…♪
- ⑦具合が悪くなったらかかりつけへ。
- ⑧国語、算数、〇〇、社会…。
- ⑩金・銀・〇。メダルの種類。
- ⑪もぐさを用いた昔から医療法。チョット熱いかも。

①	②	③ A		④ B
⑤ E			⑥	
		⑦		
⑧ C	⑨		⑩	
⑪			D	

◎A～Eの文字を並べて下さい。  
ヒント:近年では、ほとんど聞くことがありません。

神社 Q & A

◇式年遷宮

式年遷宮(しきねんせんぐう)の制度は、第四十代天武天皇がお定めになり、次の第四十一代持統天皇の四年(西暦六九〇年)に第一回目の御遷宮が行われました。以来長い歴史の間には戦国時代に一時の中断はありましたが、二十年に一度の御遷宮は継続され、来る平成二十五年には第六十二回目の御遷宮が行われます。

遷宮とは、新しいお宮を造って大御神にお遷りを願うことで、伊勢神宮に限って使用され、その他の神社では遷座(せんざ)祭と称します。また式年とは定められた年のことを言います。ちなみに阿蘇神社の例祭(十月十五日)も、十年ごとに「式年大祭」として斎行されています。

神宮には内宮・外宮ともそれぞれ東と西に同じ広さの敷地があり、二十年ごとに同じ形・大きさの社殿を交互に新しく造り替えます。また神様の御装束神宝も新しく作成されます。

なぜ二十年かという定説はあり

ませんが、技術を伝承するためにも合理的な年数とされていますし、掘立柱に萱(かや)の屋根という素木造り(しらぎづくり)の神宮の社殿の尊厳さを保つためにもふさわしい年数とされているようです。

また、式年遷宮の理念とされる常若(こわか)は、常に若々しい生命の輝きを求めて止まない日本人の民族性によるものと考えられます。式年遷宮では、約八〇〇種一六〇〇点の御装束神宝が、その時代の最高の職人や芸術家により古式の通り作成されています。

式年遷宮は、単に神宮の祭事ではなく、日本の文化そのものであると言っても過言ではありません。前例に倣うと、平成二十五年十月に御遷宮が行われ、その後一年間は新旧の御社殿が並び建つ様を目にすることが出来ます。

阿蘇神社では、前回の御遷宮の翌年に参拝旅行を実施いたしました。今回も同様に計画をしておりますので、ご期待下さい。



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

# 初詣は阿蘇神社へ!!

## 一年の計は元旦にあり

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい

### 平成24年 算賀表

(年齢は数え年)

厄入 男 41歳 昭和47年生  
 女 33歳 昭和55年生  
 厄払 男 42歳 昭和46年生  
 女 34歳 昭和54年生  
 その他の大厄の年  
 男 25歳 昭和63年生  
 女 19歳 平成6年生

◎ その他、男女とも22歳、28歳、37歳、49歳、52歳、58歳が厄年とされています。  
 還 暦 61歳 昭和27年生  
 古 稀 70歳 昭和18年生  
 喜 寿 77歳 昭和11年生  
 米 寿 88歳 大正14年生  
 ◎ その他、80歳を傘寿、90歳を傘寿、99歳を白寿、100歳を上寿といひます。

参賀は人生の節目です。神様に報告をいたしましょう。

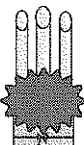
### お知らせ

◎ 元旦午前零時に鏡開きを行い、御神酒(樽酒)を振る舞います。  
 ◎ 新年の御祈願は元旦午前零時より随時受け付けます。  
 会社・団体の新年の祈願祭も随時受け付けています。  
 家内安全・商売繁昌  
 厄入・厄払・試験合格  
 交通安全祈願 他

◎ 神社の駐車場は台数に限りがあります。ご参拝の皆様方にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご容赦のほどお願いいたします。

◇ 年末年始の神社行事予定 ◇  
 十二月三十一日午後四時 大祓式  
 午後十一時 除夜祭  
 一月 一日午前零時 歳旦祭  
 一月 三日午前八時 元始祭  
 二月 三日午後五時 節分祭  
 引き続き 火焼神事  
 引き続き 豆撒行事  
 二月 十一日午前九時 紀元祭  
 喜々津邦楽愛好会による尺八の奉納演奏があります。  
 ◎ 紀元祭にはどなたでも参列できます。尺八の伴奏で「紀元節」の歌を合唱します。一緒に歌ってみませんか。  
 ◎ ご家族ご近所お誘い合わせ、ご参列下さい。

### 謹賀新年



阿蘇神社	宮司	大島 大明
責任役員	会長	前田信太郎
"	副会長	吉野 徹
総代		松尾 清人
"		大久保治賢
"		宮嶋 博
"		向井 徳磨
"		溝上 一盛
"		上之 睦
監事		松尾 一彦

◎ お詫び  
 社報の前号に掲載した「例祭初穂料奉納者一覧」に、上之睦氏のご芳名が漏れておりました。お詫びして修正いたします。

### ◆編集後記◆

三月十一日の東日本大震災では神社界にも大きな被害を与えています▼一般紙ではあまり報道されませんが、神社本庁の集計では、被災した神社は一都十五県で三千三百八十六社、また福島県内の原発の事故により避難区域の対象となった神社は二百四十三社を数えるそうです▼年頭に当たり、被災地が一日も早く復興されますよう祈りたいと思います